

24. 議会広報の充実化に向けた取り組みの事例

◆北海道 札幌市 H

インターネットによる本会議ライブ中継や各区役所等に設置している大型ディスプレイに本会議中継を放映している

◆北海道 旭川市 E

〈平成16年度開始のもの〉市民向け議会広報誌に、特別委員会(百条委)、常任委、議運委の活動状況(開催日、協議事項等)を追加して掲載することとした

◆北海道 室蘭市 C

地元新聞編集責任者を招いての勉強会等を実施している

◆北海道 富良野市 A

- (1) 広報特別委員会を設置し、各議会終了後に委員会を開催の上編集発行
- (2) ホームページへの広報掲載

◆青森県 青森市 D

平成11年第3回定例会より、ケーブルテレビによる本会議放映を開始。平成15年8月より青森市議会ホームページを開設。(会議録検索システムも同ホームページに掲載)平成17年第1回定例会より、本会議のインターネット中継配信を行う予定(平成17年6月3日の開会日からの予定)

◆岩手県 盛岡市 D

平成16年から「議会日誌」のコーナーを設け、定例会閉会中の議会の動きについて周知を図ることとした

◆岩手県 北上市 B

講師による編集委員会研修。先進地視察研修

◆岩手県 久慈市 A

議会報編集委員会委員による先進地視察

◆岩手県 釜石市 A

議会だよりにおいて、文字を大きくし、表紙をカラーにするなど、読者に見やすい紙面にした

◆宮城県 仙台市 H

- (1) 議員個人のホームページアドレスを議会ホームページに掲載した
- (2) モニターテレビ中継として市民センター(公民館)1ヶ所を追加した
- (3) 平成15年にモデル事業として実施した子ども議会を本格実施した

◆山形県 村山市 A

議会50周年特集号を作成した

◆福島県 会津若松市 C

広報編集委員(任意、費用弁償なし、各派の代表1名計11名により構成)を平成12年に設置。議員が質問した部分については、議員自らが原稿作成をする。広報紙のレイアウト改革に取り組む

◆富山県 高岡市 C

CATVによる議会放映を検討中

◆富山県 黒部市 A

ホームページ開設による議会情報の公開

◆富山県 南砺市 B

原稿作成から校了まで一貫して議員が取り組み、議会だよりの充実化を図っている

◆石川県 金沢市 F

〈インターネットによる情報提供について〉

(1)委員会記録の掲載について…現在掲載している常任委員会(連合審査会を含む)に加え、新たに決算審査特別委員会を掲載する(4 特別委員会、議会運営委員会については掲載を行わない)

(2)本会議中継のビデオライブラリー化について(平成17年6月実施)

(3)委員会の開催日程の掲載について…一般傍聴の対象である常任委員会、決算審査特別委員会の日程を掲載する

(4)常任委員会視察報告の掲載について…掲載する

◆石川県 羽咋市 A

ホームページで公開し、広く周知している

◆福井県 敦賀市 B

(1)議会だより

(2)インターネット

◆福井県 武生市 B

(1)議会だよりの発行(年4回)

(2)ケーブルテレビによる本会議放映(生放送及び再放送)

(3)議会ホームページの充実(会議録検索システム含む)

(4)市政の概要の発行

◆長野県 長野市 E

「ながの市議会だより」を定例会ごとに発行している(点字版も発行している)。併せて、長野市議会のホームページでも公開している

◆長野県 岡谷市 B

(1)ホームページを開設して、議会のしくみ、本会議の会議記録等が閲覧できる

(2)広報紙で本会議の主な結果内容を掲載している

◆長野県 諏訪市 B

議会だより編集委員会により「すわ市議会だより」の発行にむけて編集内容等についての話し合いがなされた。発行は年４回で、原則的には定例会の翌月１５日。市内毎戸配布のほか、関係機関等へも配布している

◆長野県 須坂市 B

市議会広報特別委員会による先進地への行政視察（常任委員会行政視察時に、議会広報についても意見交換等行う）

◆長野県 中野市 A

- (1) 広報誌の全戸配布
- (2) 市議会 HP の開設
- (3) インターネットを通じた会議録の公開
- (4) ケーブルテレビによる本会議の録画放送
- (5) 市民課待合室での本会議中継

◆長野県 大町市 A

大町市議会広報紙発行規程により、市議会だより編集委員会を設置。各常任委員会、各会派、会派に所属していない議員の代表で構成され、自主編さんしており、定例会の翌月に広報紙を発行している

◆長野県 塩尻市 B

インターネットによる議会中継録画の配信をスタート

◆長野県 千曲市 B

- (1) ケーブルテレビによる議会本会議の中継と委員会の録画放映
- (2) 議会ホームページの迅速更新
- (3) 議会ホームページの会議録検索システムによる公開

◆東京都 千代田区 A

区民等、幅広く様々な方へ千代田区議会活動の広報の一環として、平成１４年１１月に議会独自のホームページを稼働し、会議録検索システムをはじめ、区議会日程や議案の審議結果などを掲載してきました。また、議長交際費や政務調査研究費の支出状況など少しずつ掲載内容の充実を図ってきているが、平成１５年３月にメールマガジンの発行を開始しました。このメールマガジンでは、議会の日程など最新情報を配信するとともに、ホームページへのリンクをつけ、リピーターを増やすなど情報の発信をしていきます

◆東京都 新宿区 D

区のホームページに政務調査費を掲載。平成１６年１月からは交際費も掲載している

◆東京都 墨田区 D

- (1) ホームページの充実
- (2) 会議録検索システムの導入
- (3) ウェブアクセシビリティに配慮したページ作り
- (4) 区議会だよりテープ版の発行

◆東京都 目黒区 D

「めぐろ区議会だより」のレイアウトなどに新しい感覚を盛り込みたく、目黒区議会広報・図書室運営委員会で検討した。デザイン関係の専門学校 2 校に依頼し、学生約 10 名に発行済みの区議会だよりを用いたデータを使ってレイアウトを組んでもらった。提出されたものの中から、運営委員会でグランプリ賞とレイアウト賞の 2 点を選出し、その作品を使った学生を表彰した。平成 17 年度からレイアウト賞に選出された作品をベースとしたレイアウトで「めぐろ区議会だより」を作成することとした

◆東京都 世田谷区 G

FM ラジオで本会議の録音中継を行っているが、放送時間をより視聴率向上が予想される時間帯に変更し、第 2 回定例会より実施した(変更前…午後 7 時放送開始。変更後…午後 5 時放送開始。ただし土曜日は、放送しない)

◆東京都 中野区 E

平成 16 年第二回定例会から、ケーブルテレビにより本会議一般質問の中継(録画)を開始した

◆東京都 板橋区 G

議会運営委員会において、本会議のビデオ中継、ネット中継、CATV 中継ならびに、委員会審議でのネット中継、CATV 中継について現在検討中である

◆東京都 足立区 G

議会のホームページを随時更新している

◆東京都 江戸川区 G

区議会 HP 開設(平成 16 年 3 月～)

◆東京都 八王子市 G

- (1) 常任委員会の審査状況を掲載するようにした
- (2) 一般質問をテーマごとにまとめ、議会で何が講論されるか分かりやすくした

◆東京都 立川市 C

「市議会だより」を新聞折込から全戸配付に変更(平成 16 年 4 月より)

◆東京都 三鷹市 C

平成 16 年第 1 回定例会号(平成 16 年 5 月 2 日発行)

◆東京都 府中市 D

より親しみやすく読みやすい議会だよりを目指し、紙面の大きさを若干大きくし、文字の大きさも拡大した(10.5 ポイント→11 ポイント)

◆東京都 調布市 D

平成 16 年 7 月 28 日発行の市議会だよりから、一般質問の記事に、質問した議員の顔写真を掲載している

◆東京都 町田市 F

誰にでも読みやすい紙面にすることを目的に、活字、レイアウトの検討を行いタブロイド版 8 ページで、1・8 面はカラー、他は 2 色字数を減らし、文字ポイントを大きくした(1 ページ 8 段、1 段 49 行、1 行 13 字)文字ポイント 15 級(10.5P)

◆東京都 日野市 C

平成 16 年度に活字のポイント数を上げ読みやすい紙面づくりにした

◆東京都 狛江市 B

平成 14 年 12 月 17 日の第 1 次の議会改革の実施において議会広報の充実を図った

◆東京都 東大和市 B

市議会だよりを読みやすくするため、紙面の構成等を全面改正することを目的に、議会報編集委員会に作業部会を設置した。また、市議会だよりを市民により親しみを持っていただけるよう「市議会のキャラクターマスコット」を募集し、応募のあった作品からマスコットを決定した。平成 17 年 5 月号の市議会だよりから、タイトルロゴに本マスコットを挿入して掲載していく

◆東京都 清瀬市 B

編集・校正システムを導入し、発行の迅速化、編集内容の充実化を図っている

◆東京都 武蔵村山市 B

市議会ホームページ等での PR

◆東京都 多摩市 C

議会だよりの作成については、議員自らが原稿の作成にあたっている。議会ホームページを開設している

◆神奈川県 横浜市 H

市会ホームページに小中学生向けページを設けた。(平成 16 年 7 月)教育委員会が主催する横浜市役所見学会「発見！横浜市役所・子どもアドベンチャー 2004」事業の一環として議場見学・横浜市区クイズを行った

◆神奈川県 川崎市 H

- (1)インターネット本会議生中継・録画中継の実施(平成 16 年第 4 回定例会から)
- (2)テレビ放映(2 本)
- (3)各区役所(7 区)地下街へ議会情報コーナーを設置

◆神奈川県 横須賀市 F

- (1)インターネットによる本会議の放映
- (2)映像と会議録がリンクした本会議録の採用及びHPによる公開
- (3)本会議録及び委員会会議録をHPで全文公開
- (4)特別委員会への予算議案付託

◆神奈川県 鎌倉市 C

主に以下の点を変更して編集にあたった

- (1)1面に定例会で問題になった事項の結論だけを箇条書きで列挙する
- (2)会派ごとの賛否一覧を掲載する
- (3)1面に写真を掲載する
- (4)質疑は議員個人別でなく事項別にする
- (5)議会用語をなるべく使わない

◆神奈川県 小田原市 C

平成16年5月より小田原市議会広報委員会を設置、議会活動の市民への周知やホームページ記載内容の検討を行った

◆神奈川県 茅ヶ崎市 D

本会議の映像配信を平成17年度第4回定例会より予定している

◆神奈川県 秦野市 C

議会ホームページの充実。会議録検索システムの導入。映像配信の研究

◆山梨県 韮崎市 A

インターネットホームページの再構築

◆茨城県 つくば市 C

平成15年11月からカラー化により読みやすく親まれる紙面づくりに努めている。平成15年度からDTP(パソコンによる編集)により経費節減と編集効率アップを目ざしている

◆栃木県 宇都宮市 F

平成17年7月下旬より議会広報紙の音声版(カセットテープ録音)点字版の発行予定。以降、年4回定期的に発行する予定。※議会広報(あなたと市議会)は、年4回(4月・7月・10月・1月)発行

◆栃木県 栃木市 B

議会だより(音声・点字)の発行。ホームページ、会議録検索システムの充実。議場コンサートの開催。ケーブルTVによる一般質問の録画放送及び文字放送による開会予定のお知らせ

◆栃木県 今市市 B

親しみやすい議会だよりを目指して、表紙写真を公募。議会に対する市民の意見を調査するため、アンケートを実施

◆群馬県 太田市 C

発行形態として市広報に組み込んだ形としており、新聞おりにみによる全戸配布により市民の目に留まりやすくなるよう工夫している

◆群馬県 沼田市 A

- (1) 市議会ホームページを設置
- (2) 市広報紙への「議会のうごき」掲載

◆埼玉県 所沢市 E

代表質問・一般質問を録画したビデオを貸出している

◆埼玉県 狭山市 C

- (1) 平成 16 年 3 月定例会号からホームページに掲載(PDF 形式)
- (2) 平成 16 年 6 月定例会から次回定例会の日程案を掲載

◆埼玉県 深谷市 C

編集委員会に業者の出席を求め、レイアウトなどの支援をうけている

◆埼玉県 上尾市 D

議会中継のインターネット配信

◆埼玉県 越谷市 E

平成 16 年 4 月から、市内公共施設(地区センター、図書館など)に設置されたキオスク端末により、本会議を視聴することが可能になった。また、平成 16 年 12 月から、市議会のホームページから本会議を視聴することが可能になった

◆埼玉県 志木市 B

平成 17 年度から議会のホームページに、議会広報を掲載している

◆埼玉県 上福岡市 B

議会だよりをホームページに PDF 形式で掲載中

◆埼玉県 三郷市 C

- (1) 議会だより一般質問者の氏名掲載
- (2) 議会ホームページの充実

◆埼玉県 蓮田市 B

- (1) 議会だよりの発行
- (2) ホームページの開設

◆千葉県 船橋市 G

- (1) 質問議員名を掲載
- (2) 紙面のフルカラー化
- (3) 文字の拡大

◆千葉県 野田市 C

議会公式ホームページの開設

◆千葉県 八日市場市 A

「ようかいちば議会だより」を平成 16 年から市ホームページ上に掲載した

◆千葉県 旭市 A

議会報編集委員の先進地視察

◆千葉県 市原市 D

予算及び決算審査特別委員会の詳細な委員長報告。傍聴者の感想等

◆千葉県 流山市 C

(1)議会報編集特別委員会を設け発行に至るまで校正を行う

(2)議会だより写真コンクール(市民から公募)を行い、年 4 回発行している議会だよりの 1 面に、入賞者の作品を掲載している

(3)事務局職員が年に 1 回研修に参加している

◆千葉県 八千代市 C

平成 16 年 7 月に市議会のホームページを開設

◆千葉県 浦安市 C

より開かれた浦安市議会を目指し、本会議における審議の模様をインターネット上で配信することにより、傍聴することが困難な市民の利便性の向上、市議会としての積極的な情報公開を行うことを目的とし、平成 18 年 3 月の第 1 回定例会のインターネット中継の実施を予定している

◆千葉県 八街市 B

ホームページに内容を掲載

◆千葉県 印西市 B

議会中継検討委員会を設置している

◆千葉県 白井市 B

議会広報をインターネットのホームページへ毎号掲載し、多くの人に読んでもらえるようにしている

◆静岡県 静岡市 G

職員が製作していた今までのホームページを政令都市移行に併せ、外部委託により、ユニバーサルデザインを意識した市民にとって使い易いホームページにリニューアルした(必要な書類のダウンロードや文字サイズの変更が可能となり、色調のコントラストに留意したうえで、サイト内の画面展開を容易とした)

◆静岡県 浜松市 G

議会だより(広報紙)のレイアウトを、民間のデザイナーのアドバイスにより一新した

◆静岡県 熱海市 A

- (1)議会だよりを平成 17 年 2 月に創刊した
- (2)議会だよりのテープ化を計画している
- (3)市議会ホームページの内容を順次充実させ、平成 16 年 7 月より本会議・委員会の会議録検索システムが稼働した
- (4)市議会ホームページに地元ケーブルテレビ局の議会放映日程を掲載した

◆静岡県 三島市 C

- (1)議会だよりのカラー化(表紙、裏表紙のみ)、本文青一色刷→2 色刷
- (2)本会議の CATV による中継、録画放送

◆静岡県 伊東市 B

議会だよりを年 4 回発行し、市内全世帯及び関係機関等に配付するとともに、ホームページにおいて定例会等の情報を掲載し、会議録の検索ができるなど、議会広報の充実化に取り組んでいる。また、ホームページに関しても検討会等を実施している

◆静岡県 焼津市 C

会議録及び市議会だよりのホームページへの掲載

◆静岡県 掛川市 B

読みやすい、親しみのもてる広報とするため、全ページフルカラー印刷としました

◆静岡県 藤枝市 C

本会議 TV 中継についての検討(平成 17 年 2 月定例会から実施)

◆静岡県 御殿場市 B

平成 16 年 7 月にホームページをリニューアルした。議会のしくみ、概要等を充実。議員名簿、会議日程を追加。市議会だより、会議録検索ボタンを追加し、アクセスを容易にした

◆静岡県 下田市 A

年 4 回「議会だより」の発行

◆愛知県 名古屋市 H

本会議インターネット中継について、平成 17 年度からの実施に向けた検討を行った

◆愛知県 豊川市 C

平成 17 年度担当職員が議会広報誌に関する研修を受ける。その後レイアウトや内容の見直しの青写真を作り、編集委員会へ諮っていく

◆愛知県 刈谷市 C

市民が議会だよりにどの程度関心を持ち、どのような感想、意見を持っているか調査し、紙面内容の向上に資するための基礎資料とするため定例会の傍聴席を対象にアンケートを実施

◆愛知県 日進市 B

議会広報特別委員会を設置し、構成員となる議員自ら原稿作成、写真撮影、校正、編集等を行っている

◆愛知県 田原市 A

議会ホームページの作成

◆三重県 四日市市 D

議会広報調査特別委員会において、会議のテレビ放送の一本化、インターネット中継、VOD(ビデオ・オン・デマンド)議会報のあり方等について検討した

◆三重県 亀山市 A

市議会だより編集委員会(任意)を設置している

◆岐阜県 大垣市 C

ホームページ上に議長交際費を掲載

◆岐阜県 可児市 B

点字による議会だよりの発行を行った。市議会ホームページに(過去のものも含め)議会だよりを掲載。併せて市民からの問い合わせや意見徴収のため、議会だより編集委員会専用のメールアドレスを設置した

◆岐阜県 山県市 A

議会だよりを定例会の翌々月の1日発行(年間4回)。A4版(オールカラー)8頁、9,000部印刷し、各世帯へ配付、又コンビニに置き迅速な情報提供を推進している

◆岐阜県 下呂市 A

議会だよりの発行(年4回)

◆大阪府 大阪市 H

インターネット録画放映の実施(平成15年2月・3月定例会から)・本会議のうち当初予算並びに予算関連案件の市長説明と各会派の代表質問の質疑・答弁 追加として新市長就任挨拶・施政方針表明及び各会派の一般質問の質問・答弁(平成15年12月・平成16年1月)

◆大阪府 岸和田市 D

本会議における一般質問と総括(代表)質問の1回目の質問と答弁を録画編集し、インターネットで配信(平成16年第4回定例会～)

◆大阪府 泉大津市 B

議会だよりのインターネットによる閲覧。会議録検索システムの導入

◆大阪府 枚方市 F

ホームページに議会版のPDF版を掲載(平成16年11月まではHTML方式で掲載)

◆大阪府 八尾市 D

より多くの情報提供を行うため、議会ホームページについて項目数を増やすとともに、より開かれた議会とするため、わかりやすく見やすいホームページとなるよう、引継ぎ改善を進めている

◆大阪府 大東市 C

市民まつりに議会ブースの出店(平成 16 年 9 月)市政相談の実施、議案審議の流れ、請願、陳情の提出方法などの展示

◆大阪府 和泉市 C

- (1)議会だよりの編集方針として、審議の結果だけではなく、紙面の許す限りその経過や内容(質問、答弁、討論等)を掲載するよう務めている
- (2)配布方法については、市広報協会(広報協会より町会・シルバー人材他)に委託。市広報に折り込み、全戸配布している

◆大阪府 箕面市 C

議会報における紙面の見直し…文字を 9.5 ポイントから 11 ポイントに大きくし、レイアウトを変更

◆大阪府 高石市 B

- (1)議会独自のホームページ設置検討
- (2)議会報掲載記事内容の検討

◆大阪府 東大阪市 F

ケーブルテレビでの議会放映の充実(放映時間の延長等)

◆大阪府 四條畷市 B

市のホームページより閲覧が可能

◆京都府 福知山市 B

平成 18 年 1 月 1 日に福知山市・三和町・夜久野町・大江町が合併し新福知山市が誕生する。今後、議会だよりの編集委員会で、紙面数・構成・委員会の位置付け等について協議を行う

◆京都府 宇治市 C

議長交際費、議長公的日程のホームページ掲載

◆京都府 城陽市 B

市議会だよりの原稿作成等の委託化(平成 17 年度が実施)

◆滋賀県 甲賀市 B

- (1)広報特別委員会を設置し、12 名の議員により「こうか市議だよりの」広報紙を毎定例会ごとに編集・校正し、発行している。また、議会ホームページの掲載についても、同時に更新をしている
- (2)テレビ放送については、本会議の代表質問、一般質問、委員長報告のみをケーブルテレビにより生中継し、市長施政方針については、録画放送による。放送後については、各支所での録画放送、議会事務局での対応をしている。また、会議録検索システム導入に向け準備を進めており、年度内に導入予定である

◆兵庫県 尼崎市 F

議会広報の一環として、平成 13 年 11 月から市議会の公式ホームページを開設し、市民・事業者等へ提供する議会情報の内容充実に取り組んでいるが、平成 17 年 3 月にホームページの掲載項目に新たに「市議会バーチャルツアー」を追加し、写真入りで議会棟を案内できるようにしており、市民などに議会について、より身近に感じてもらうよう取り組んでいる

◆兵庫県 明石市 D

ケーブルテレビによる議会放送(3 月定例会の代表質問のみ)

◆兵庫県 芦屋市 B

市議会だよりの発行、インターネットにおけるホームページの掲載、会議録検索システムの導入

◆兵庫県 加古川市 D

議会ホームページのリニューアルを行った

- (1) 議会だよりの掲載
- (2) 見やすいデザインに変更

◆兵庫県 養父市 A

議会広報特別委員会を設置し、議員で編集等を行い議会の活動を広く住民に周知し、市政に対する理解と協力を得るため広報の発行を行っている。また、議会広報の中に「市民の窓」という欄を設け、市や議会に対する市民からの声も掲載している

◆奈良県 奈良市 E

- (1) 「奈良市議会だより」を年 4 回(5 月、8 月、11 月、2 月)発行
- (2) 奈良市議会のホームページを開設

◆奈良県 生駒市 C

- (3) 議会報「市議会のうごき」において、一般質問の質問者の氏名を掲載する

◆和歌山県 橋本市 B

市議会だよりの発行。インターネットホームページの整備

◆鳥取県 鳥取市 D

全市規模での CATV 網の整備を活用し議会生中継と録画放送により多くの市民への議会広報の充実に努める

◆岡山県 倉敷市 F

平成 16 年度当初は、議会広報紙とホームページにより議会広報を行っていたが、開かれた議会を目標に、広報の充実化を図るために平成 16 年 11 月より、携帯版のホームページを開設した。携帯版のホームページにアクセスしやすくするために議会広報紙に QR コードを掲載した。また、視覚障害に対応するために「声の議会だより」をデジタル化して、ホームページ上に掲載している

◆岡山県 井原市 A

議会だよりについて

- (1)平成 16 年よりページ数増
- (2)平成 17 年より誌面をカラーに変更

◆岡山県 瀬戸内市 A

議会だよりを年 4 回発行

◆広島県 広島市 H

定例会での一般・総括質問(発言者ごと)の模様を、閉会後にケーブルテレビ会社が自主制作により放映しており、この放映日程表を平成 16 年第 4 回定例会分から本市議会ホームページに掲載し、広く周知を図っている

◆広島県 福山市 F

地元 FM 放送局で本会議の代表質疑等を一問一答形式に編集し、放送している

◆広島県 府中市 A

広報紙作成を編集委員会に一任するときに、ページ数の増、二色刷りにすることにより充実を図っている。また表紙写真を市民に公募し、市民に親しみを持ってもらえるような内容に心がけている

◆広島県 大竹市 A

市議会だより平成 16 年 5 月号から市のホームページに掲載

◆広島県 東広島市 C

より読みやすいものにするため市民 1,000 人にアンケートを実施、会報委員会を 10 回程度開催し、リニューアルを行った

- (1)紙面の文字を大きくした
- (2)一般質問の分量を固定化し、みだしには通告書の「質問の要旨」を用いず、より分かりやすいものに
- (3)分野ごとに質問項目を分けたもくじのページを新設など

◆広島県 廿日市市 B

平成 16 年から議会だよりを年 4 回発行

◆山口県 宇部市 C

議会ホームページの開設(本会議会議録の閲覧、会議の日程、議決結果、活動状況等の掲載等)

◆山口県 下松市 B

市議会だよりの発行。定例会ごとに年 4 回、2 月、5 月、8 月、11 月に作成し、市内全世帯と関係機関に配布している

◆山口県 小野田市 A

2 年に 1 度先進地を視察し、研修に努めている

◆徳島県 小松島市 A

平成 15 年より議会だより編集委員会として議員による編集作業を行っており、事務局は補佐的役割を務めた。平成 16 年 6 月定例会において、議会広報特別委員会として設置された

◆愛媛県 松山市 G

(1)市議会だよりー平成 9 年 5 月からダブロイド版にて全戸配布。平成 11 年 5 月に「点字市議会だより」を、12 年 5 月に「声の市議会だより」を作成配布

(2)議会ホームページー平成 9 年に開設し、平成 15 年 1 月に議会単独のホームページとして、会議録検索、市議会だより、委員会の開催等のほか、市民からの意見・要望を募るアンケートも掲載した。さらに平成 16 年 1 月には、議長室、委員会の審査内容等を掲載するなど、その充実に努めている。市内小学校 6 年生を招き、模擬議会を行う「松山子ども議会」、公募市民参加のもと議場を開放してコンサート、講演会を開催する「今、議場が面白い」の自主事業を毎年開催している

◆高知県 高知市 E

議会広報紙(高知市議会だより)の発行(年 4 回)。点字議会だより作成。録音議会だより作成。ホームページの開設。ケーブルテレビによる本会議生中継。議会テレビを特別番組の制定(年 2 回)

◆福岡県 北九州市 H

(1)市議会だよりの発行

(2)ホームページの管理・運営

(3)CATV 中継(定例会本会議(市長提案理由及び質案・質問)の中継)

(4)点字市議会だよりの発行

(5)声の市議会だより(市議会だよりの内容をカセットに録音したもの)

◆福岡県 大牟田市 C

(1)議事録検索システムの導入(平成 15 年度より)

(2)議会中継システム(実施にむけて検討中)

◆福岡県 久留米市 E

(1)市議会紹介ビデオの制作

(2)FM ラジオ、ケーブルテレビによる本会議開催案内の放送、放映

◆福岡県 筑後市 A

平成 16 年 12 月 20 日「ちくご市議会だより編集特別委員会」の設置。平成 17 年 3 月議会分を試作品号として議会内部に配布

◆福岡県 筑紫野市 B

次回定例会の本会議・委員会の開催予定日を掲載している。

◆福岡県 古賀市 B

議会報編集特別委員会を設置し、議員による原稿おこし、編集作業を行っている。議会事務局はそのために必要な資料等を提供する。古賀市議会報発行規程に基づき発行。

(改選後、)議員提案によるものだが、議会報編集特別委員が賛成者となった。

地方議会報編集委員会に関する地方自治法の改正を求める意見書を提案。本会議で可決し、関係機関に送付した

◆佐賀県 伊万里市 B

(1)紙面における情報伝達効果を上げるため「議会ホットコーナー」を設けた

(2)議会運営委員会報告を掲載

◆長崎県 佐世保市 D

平成 16 年 7 月から、佐世保市議会の独自のホームページを開設した。議会だよりも、ホームページに載せている

◆長崎県 五島市 A

議会活動等を広くかつ早急に市民に伝える議会だよりの編集、発行及び親しめる広報づくりを行うため議会広報特別委員会を設置している

◆熊本県 八代市 C

地域イントラネット網及びインターネット網を利用したの本会議の中継・録画、委員会の中継を放映

◆熊本県 人吉市 A

市議会ホームページのコンテンツを増やし、内容を充実。平成 16 年度に4つのコンテンツを追加(「議会改革の取り組み」「請願・陳情」「意見書・決議」「議長動静」)

◆熊本県 玉名市 A

議会で任意の編集委員会をつくり、議員自ら編集作成。レイアウトから一般質問の質問要旨・答弁まで、それぞれ質問した議員が執行部に対し配付収集。事務局職員は原稿の校正や写真撮りの手伝い程度。短期間での発行。毎定例会翌月の 15 日に発行。各家庭に配付

◆大分県 津久見市 A

市議会だよりの発行

◆大分県 竹田市 A

(1)議会だよりの発行

(2)ホームページによる会議録等の公開

(3)防災行政無線による議会傍聴の案内

◆宮崎県 宮崎市 E

会議録のインターネット検索

◆宮崎県 串間市 A

会議録検索システム

◆鹿児島県 枕崎市 A

ホームページの充実。議会報の充実

◆沖縄県 那覇市 E

小学 6 年生の社会の授業に「政治のしくみを知ろう」の単元があるが、教育委員会と連携し、「政治の仕組み・議会」を学ぶ身近な事例として、小学生の議会傍聴を積極的に受け入れている

◆沖縄県 具志川市 B

(1)防災無線での会期日程のお知らせ

(2)市ホームページにより、会期日程、一般質問通知一覧、議決結果の掲載

◆沖縄県 石垣市 A

議会報の表紙写真の充実(祭風景など)

◆沖縄県 豊見城市 B

(1)議員の編集による議会報を年 4 回発行、全世帯へ配布、ホームページの掲載

(2)ホームページでの会議録検索システムの提供

(3)庁舎内モニター放送実施